

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者との1対1の場面を今まで以上に意図的に設定されて、利用者とのコミュニケーションを更に推進され、出された希望等には出来るだけ即応する。	個別のコミュニケーションをとる時間を設ける意識で行う。	居室へ出向き、お話をする機会を多く持つ。	12ヶ月
2	26	プランの内容としては支援内容を具体的にする。	コミュニケーションを多くとることで、ニーズを確認できるようにする。	コミュニケーションの中から信頼関係を構築し、一歩踏み込んだニーズを把握していく。	6ヶ月
3	33	看取りが終了したら必ず振り返りのカンファレンスを行う。	看取り対応時にはカンファレンスを実施	振り返りを行うことで、次の方の看取り対応に役立てていく。	6ヶ月
4	25	誤嚥・窒息の実施訓練を定期的に実施する。	緊急時の対応ができるように研修を実施	年1回の消防署立ち合いの避難訓練で誤嚥、窒息の講習が可能か確認し実施していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。